

4月定例教育委員会 会議録

- 1 開催日 平成26年4月10日(木)
- 2 開催場所 新館10階 大会議室
- 3 出席した委員 神吉委員長、吉田委員、桃田委員、森委員、田淵教育長
- 4 出席した職員 諏訪教育総務部長、松尾教育指導部長
大西教育総務部次長、高田教育指導部次長、
日浦教育指導部参事、
小林教育総務課長、小西教育総務課主幹、
荻野学務課長、
野村社会教育・スポーツ振興課長、
青山学校教育課長、森山青少年育成課長、
長谷川教育研究所長、
鶴谷文化財調査研究センター所長、
石坂少年自然の家所長、田野中央図書館長、
芝本教育総務課副課長
- 5 傍聴者 なし
- 6 議事の要旨
 - 開 会 午後4時00分
 - 会議録署名委員指名のこと
神吉委員長、森委員に決定
 - 会議公開の可否決定のこと
全ての議事を公開することに決定

(報告事項) 平成 26 年度主要事業の概要について

事務局より資料に基づき説明

委員 : 学校施設の耐震化の状況について、ホームページ等において、あくまでも躯体の耐震化は平成 26 年度に完了し、27 年度は非構造部材の耐震化を行うと PR できているか。

事務局 : 市民にとって分かりやすい表記となるよう、掲載内容について点検したい。

委員 : 校務用パソコンの整備について重要な点は、先生の時間が足りていないこと。1 人 1 台のパソコンを整備した後、文書処理や事務処理をどうしていくのが便利なのか。文書のフォーマットを見直すなど、パソコンをどのように活用していくかという検討はしているか。

事務局 : まず、成績処理等を行うために必要なパソコンとして 1 人 1 台の整備を行うものであり、文書処理やメール送受信等の効率化については、次の課題であると考えている。

委員 : パソコンを利用しやすい環境の整備と、文書事務の簡略化をすすめ、教育委員会事務局と学校とのやりとりを円滑に行えるよう努めてほしい。

次に、中学校給食について、教育委員会としてはどう動いていくのか。

事務局 : 実施手法ごとの費用試算を行っている。センター方式、親子方式では施設建設の立地面での課題もあるなど、費用面、立地面等も含め、事業実施に向けて庁内調整を図っているところである。

懇話会については、関係者を集め、実際に中学校給食を実施した際に予想される課題等を検討し、事前に対応策を講じることで、事業のスムーズな実施につなげていきたいと考えている。

また、先進地視察も予定している。

委員 : 社会教育に関連したところでは、社会教育・スポーツ振

興課が所管する児童クラブと、放課後子ども教室については、今後も別の事業としてとらえていくのか。対象学年の拡充等について、事業の交流や統合を考えているのか。

事務局：児童クラブについては、子ども子育て会議の動向に注目しながら進めていく。

放課後子ども教室については、児童クラブとは切り離して考えている。今年度、公民館長に校長のOBを配置していることから、公民館と学校の連携をより深めて、公民館を活用することで事業を拡充していきたい。

委員：校務用パソコンが整備されることになったが、学校が扱う情報には多くの個人情報が含まれている。全国的にもメモリーの紛失や、持ち帰り中の事故などが発生している。パソコンデータの管理規定の再確認と徹底について十分注意してほしい。

また、中学校給食懇話会については、委員の選定に留意し、選考基準等を議会に対しても説明できるよう取り組んでほしい。

○ 3月臨時教育委員会会議録報告のこと

(事務局より会議録朗読報告)

承認

(専決報告)

1 加古川市立学校校区審議会委員の任命について

(教育総務部次長より説明)

承認

2 学校医等の委嘱について

(教育総務部次長より説明)

承認

委員：専決事項については問題なく承認する。保健関係の子どもの書類において、血液型の欄があると思う。

最近は出生時に血液型検査を行わない人も多いと聞く。

学校で特に把握する必要がなければ、記載しないか記載欄を削除するなどしてはどうか。

事務局： 詳細を確認したうえで、検討したい。

委員： 委嘱にあたっては、医師会が案を出しているのか。

事務局： 医師会から勤務校もあわせて推薦がある。

委員： 子どもの数は考慮されているだろうか。医師が受け持つ学校の数は同じでも、子どもの数が違う場合など、医師の負担にばらつきはでていないだろうか。

委員： 内科医は、子どもの数が900人を超えた場合2人体制になるなど、ある程度配慮されている。

3 加古川市少年補導委員の委嘱について

(教育指導部次長より 説明)

承認

委員： 地区によって正副がないところがあるが問題ないか。

事務局： 議案作成の時点では正副が決定されていないためである。補導委員としては委嘱しており、後日、役員会で正副が決定される予定である。

委員： 地区により経験年数にばらつきがある。ベテランと新任がバランスよく配置された地区もあれば、新任ばかりの地区もある。町内会に対して委員の継続性を考慮してもらうような依頼はできないだろうか。

事務局： 委員の継続についてお願いはしているところだが、委員は町内会より推薦してもらう形となるため、それぞれの町内会での事情もあり難しいのが現状である。

委員： 氷丘は氷丘地区と氷丘南地区をあわせて21の町内会がある。その内、氷丘地区は12の町内会から委員を推薦している。毎年同じ町内会から推薦するのであれば継続できるが、

連合町内会から今年はこの町内会から、来年はこの町内会から、と割り振られてしまうと継続性が中断してしまう場合もある。

委員に年齢制限はあるか。

事務局：年齢制限は設けていない。月に昼4回、夜4回、また地域のお祭りなどイベント開催時の補導等に日常的に参加してもらっている。平日に活動することもあり、女性、高齢者、自営業者の割合が高い。年齢制限を設けると引き受ける人が少なくなってしまう面もある。

委員：若い女性の力も活用していってもらいたい。男女の割合と平均年齢はどのようになっているか。

事務局：168人中、男104人、女64人。平均年齢は60.6歳である。

4 加古川市社会教育委員の解任及び任命について

(教育指導部次長より説明)

承認

5 加古川市スポーツ推進委員の委嘱について

(教育指導部次長より説明)

承認

委員：専決事項については問題なく承認する。
今年度、スポーツ推進委員はどのような活動を行うのか。

事務局：各部会に分かれて活動する。研修部会はスポーツ推進委員の指導力向上に関する活動を、広報部会は年2回の広報誌の発行やホームページの管理を行う。事業部会は家庭教育セミナーやスポーツカーニバルなどを実施し、普及部会はスポーツライフセミナーなどスポーツの生活化推進に関する事業を企画立案する。

委員：委員が全員集まる機会はあるか。

事務局：年間2回、年度当初の4月と年度末の3月に全体で集まる。部会は年間4、5回集まっており、大きいイベントを

開催する際は全員集まっている。

委員：加古川のスポーツ推進委員は県下でもトップクラスの活動を行っていると思う。ネットワーク委員会の中心としてスポーツ推進委員には活躍してほしい。

○ 次期定例教育委員会予定日のこと

5月8日（木）午後5時から 開催することに決定

○ 教育委員諸報告

〔教育長より〕

(1) 平成26年第2回加古川市議会（定例会）日程について

5月19日から23日に開催される。

(2) 平成26年度市内学校園入学式について

予定通り実施されており、市内で5,168人の新入生を迎える。

○ 教育総務部長報告

(1) 平成25年度学校園への不審者等情報提供件数について

平成25年度に、不審者・変質者等の情報を学校園に対し合計47件発信した。

以上、1件について報告

○ 教育指導部長報告

(1) 「第2期ひょうご教育創造プラン」について

第1期プランを改定し、兵庫県の教育がめざすべき方向性と今後講ずべき施策等を示した平成26年度から30年度の兵庫県教育基本計画及び平成26年度の実施計画が策定された。

(2) 「平成26年度指導の重点」について

第2期プランに基づき、先生方の教育活動の指針となる「指導の重点」が改訂された。

(3) 青少年育成課（教育相談センター、少年愛護センター）における相談の状況について

教育相談センターを少年愛護センターに寄せられた相談について、最も多いのは不登校に関する相談であり、その次は発達・情緒に関する相

談である。発達・情緒に関する相談は電話よりも面談によるものが多く、相談が長期化するものもある。愛護センターには、反社会的問題行動に関して、保護者や学校から多く相談がある。

- (4) 平成 25 年度教職員の研修事業実施状況及び平成 26 年度の実施計画について
平成 25 年度は延べ 3,005 人の受講があった。研修後のアンケートでは、受講者の 98% が役に立ったと回答していることから一定の成果を得たと考えている。

委員： 体罰防止研修については、対象が体罰により処分を受けた教職員となっているが、若い先生にも参加してもらえばいいのではないか。

事務局： この研修は、受講対象者が限定されているが、若い先生の指導力を向上させるような研修も検討していきたい。

以上、4 件について報告

○ 閉 会 午後 5 時 28 分